

インフルエンザがどのように^{かんせん}感染^しするのかを知っておきましょう。

インフルエンザウイルスの^{かんせんけいろ}感染経路は、^{ひまつかんせん}飛沫感染^{せつしよくかんせん}と^{かんせん}接触感染^{せつしよくかんせん}の2つです。

飛沫感染

- (1) 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出



- (2) 別の人が、そのウイルスを口や鼻から吸い込み感染



※主な感染場所

学校や職場、お祭りなどの人が多く集まる場所

接触感染

- (1) 感染者がくしゃみや咳を手で押さえる



- (2) その手で周りの物に触れて、ウイルスが付く



- (3) 別の人が、その物に触って、ウイルスが手に付着



- (4) その手で口や鼻を触って粘膜から感染



※主な感染場所

電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

インフルエンザを^{よぼう}予防するためには、こうした^{ひまつかんせん}飛沫感染^{せつしよくかんせん}、^{かんせん}接触感染^{せつしよくかんせん}といった感染

^{けいろ}経路^たを絶つことが^{じゅうよう}重要です。

できそうですね

マスクをする・てあらい・うがい・^{ひと}人の集まるところをさける